

MORITA GOLF
モリタゴルフ

花時計
との認識を参加者が共有することもできた。だが、あえて言えば、もてなし以前の問題がある。朝倉地域の運転マナーは悪い。特に観光客の出入り口となる大分自動車道甘木インターチェンジを出てすぐ、商業店舗が並ぶ約1.5キロの道路は店舗に出入りする車の傍若無人ぶりが際立つ。貴重な休日を過ごす観光地を訪れ、いきなりひやひやさせられては、第一印象は最悪だと知るべきだろう。(古川努)

市観光協会の若手が中心となり、「誰が、何をやるか」を徹底的に話し合った「あさくら観光フォーラム」には大きな期待が持てる。同フォーラムでは「原鶴」「秋月」「小石原」が連携し、フリーパーパー発行を決めるなどの成果を生み、人と人のつながりが「何か」を生み出す過程を見せてもらった。「もてなしの心が大切」

地震被害のフィリピンに 仮設の小学校舎建設

柏屋町の古川さん 宮城からも募金



東ネグロス州にできた仮設校舎の教室で学ぶ子どもたち (古川さん提供)



古川勝利さん

柏屋町の海外事業コンサルタント・古川勝利さん(53)が、2月に地震被害を受けたフィリピン中部の東ネグロス州に仮設の小学校舎を建設した。古川さんは東日本大震災

の被災地でボランティアを続けており、被災者からも募金が集まった。10日に同町で行われる生涯学習研修会で、学校建設の様子を報告する。今年2月6日、東ネグロス州をマグニチュード6.9の地震が襲った。死者・行方不明者は100人以上。農業支援の仕事などで現地をよく訪れ

ていた古川さんは3月、地震後初めて訪問し、子どもたちが粗末なテントの下で勉強するのを見て仮設校舎を思い立った。東日本大震災の発生以来、宮城県でボランティア活動をしてきた古川さん。「フィリピンの子どもに校舎を」と被災者に話をすると、募金を寄せてくれた。今年5月に東ネグロス州を再び訪問。ヤシの木や倒壊した校舎のトタン屋根を再利用し、二つの教室がある仮設校舎を新築した。建設費は被災者など約30人から募った約12万円で賄った。

「東ネグロスに校舎ができた話は、宮城の人にも元気を与えるはず」と古川さん。次に宮城県を訪れる際にフィリピンの子どもたちの写真を見せるといふ。報告会は10日午前10時から、柏屋町駕与丁1丁目のサンレイク

かすやで。入場無料。(坂本公司)



雷山空襲について、語り部の証言などを収録したDVD

糸島市の被災小の 住民制作

収録した証言は、雷山小で1年前に行われた平和学習。同小は空襲で校舎が焼け、教師1人が死亡した。柴田さんが5・6年生を前に、すく近くに落ちた焼夷弾の炎をくぐるようにして父や姉と防空壕に逃げた話を、市民ボランティアの協力で撮影した。(下村佳)

戦争の悲惨さ

元オウム高橋容疑者 情報提供を呼び掛け 柏屋署がチラシ 柏屋署は8日、柏屋町 特別手配中のオ

ホタルの光で元気に

熊本・天草市の児童 福岡病院の子どもに贈る



国立病院機構福岡病院(福岡市南区)に入院する子どもたちに季節の風物詩を届けようと、熊本県天草市の城河原小学校の児童など11人が8日、同病院を訪れ、地元の子に生息するホタル百数十匹を贈った。

「ホタルの光で元気に」なつてもらおう」と始まったこの贈り物は、通称ホタル小屋に搬入された。